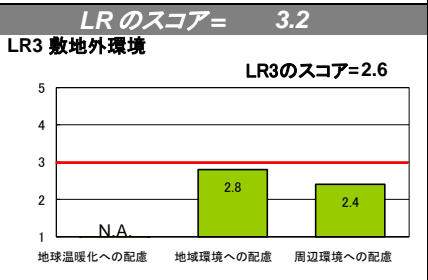
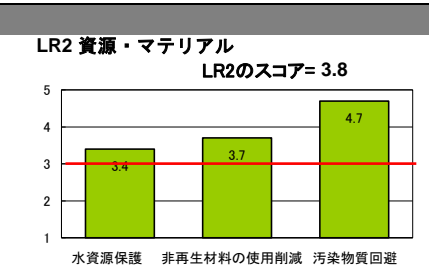
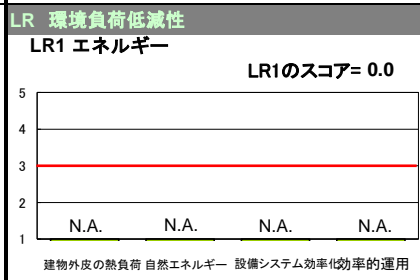
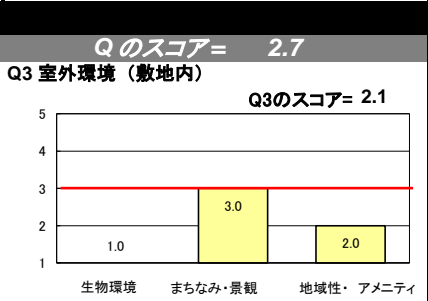
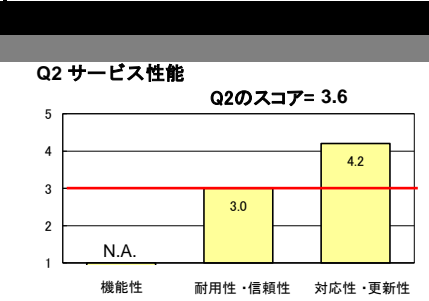
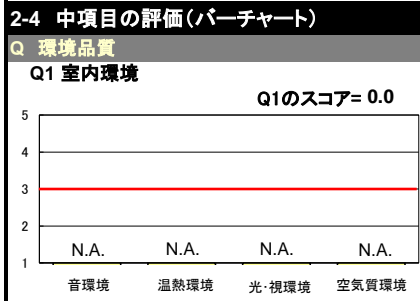
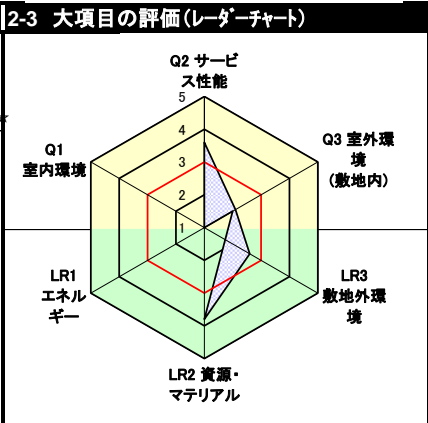
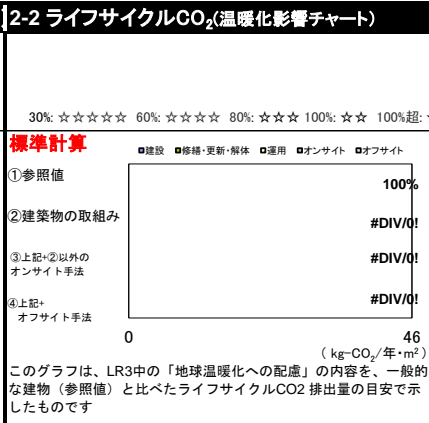
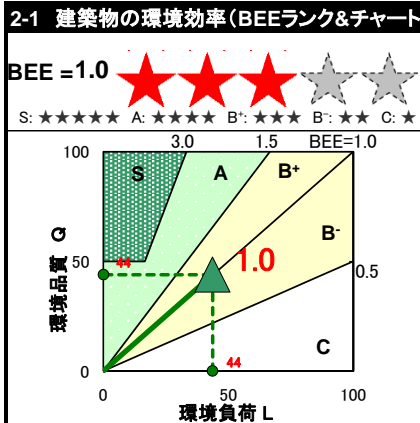


1-1 建物概要	
建物名称	大友ロジスティクスサービス棟相模原LC
建設地	相模原市中央区田名字比羅野2857番2 他10筆
用途地域	準工業地域
地域区分	6地域
建物用途	工場
竣工年	2020年11月 予定
敷地面積	7,340 m ²
建築面積	3,563 m ²
延床面積	3,745 m ²

階数	地上2F
構造	S造
平均居住人員	10 人
年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020年3月19日
作成者	中村土建㈱一級建築士事務所
確認日	2020年3月23日
確認者	中村土建㈱一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>相模原市開発事業基準条例に即し周囲に緑地を配し、周辺環境にも考慮した。建物は切妻やねとして過大な存在感にならない様にした。</p>	<p>その他</p> <p>敷地北西の隣地には、個人住宅、老人ホームがあり、防音対策として防音壁を設けた。</p>
<p>Q1 室内環境</p>	<p>Q2 サービス性能</p>
<p>LR1 エネルギー</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない建材の使用を考慮した。</p>
	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>相模原市条例により、周辺緑地を配置した。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>雨水排水は敷地内の調整池2箇所処理をした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される